

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 12 月 1 日

設置・運営主体	所沢市		
設置主体	所沢市		
経営主体	社会福祉法人向日葵会		
事業所名 (施設名)	東所沢保育園	種別	保育所
所在地	〒 359-0023 所沢市東所沢和田3-19-2		
電 話	04-2946-3310		
FAX	04-2946-3313		
Email	higatoko@higasitokorozawa-hoikuen.com		
URL	https://www.higasitokorozawa-hoikuen.com/		
施設長氏名	西田 恵美子		
調査対応担当者	西田 恵美子 (所属、職名：施設長)		
利用定員	103 名	開設年	平成 16 年 5 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズをふまえて、父母と保育者が共に協力しながら広く地域に開かれた園とする。 ・子どもたちの健やかな成長のため、年齢にふさわしい保育を豊かに展開する。 ・働く父母の仕事と育児の両立を支援できる施設にする。 ・父母同士の連帯感や助けあいの精神を育て、子育てが実感できるようにする。 <p>保育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりを大切にしながら年齢発達をふまえた保育を展開する。 ・いっぱいあそんで、いっぱい食べて、安心して眠る。 			
開所時間 (通所施設のみ)	7 : 00 ~ 20 : 00		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	7	8	1		3
1歳児	13	15	1		4
2歳児	15	16	1		3
3歳児	17	23	1		3
4歳児	18	21	1		2
5歳児	20	20	1		1
計	90	103	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合 計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	名	名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： ）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

社会福祉士	名（ 名）
介護福祉士	名（ 名）
保育士	名（ 名）
	名（ 名）
	名（ 名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		16	
うち	保育士	14 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	2 人	その他 () 人
非常勤職員数		19 人 (常勤換算 人)	
うち	保育士	11 人 (常勤換算	7.1 人)
	保健師・看護師	人 (常勤換算	0 人)
	栄養士・調理員	5 人 (常勤換算	2.2 人)
	その他 (保育補助・庁務・事務)	3 人 (常勤換算	1.5 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 2 人
	退職	常勤： 3 人	非常勤： 1 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		36.2 歳 (歳)	
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		7.3 年 (年)	
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)

--

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育		—
延長保育	有	18 : 30以降30分ごと100円
休日保育	無	
障害児保育	有	—
一時保育	有	1600円
地域子育て支援センター	無	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	無	
アレルギー等対応給食	有	—
その他(事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 29 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

40 人

・ボランティアの業務

保育補助(保育・環境整備など)
絵本の読み聞かせ
高校生、中学生の職場体験
(乳幼児と一日を過ごし、保育所の役割、保育士の仕事を学ぶ。)

【実習生の受け入れ】

・平成 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	㎡	
	入所(通所)者1人あたり	㎡ (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	769.62 ㎡	
	児童1人あたり	8.55 ㎡ (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	533.3 ㎡	
	児童1人あたり	5.93 ㎡ (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	16年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・年2回保護者アンケートを実施。保育方針・生活面・給食・職員の対応の5項目の他、意見要望等を記述してもらっています。
- ・行事が終わった後には感想用紙を配布し、次年度の活動に生かしています。
- ・年3回のクラス懇談会の開催や保護者会役員会に職員が同席し、保護者と意見交換をしています。
- ・個人面談は希望に応じ実施しています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

<異年齢保育> 各年齢の発達にあった保育を基本としながらも、子ども達にとって、見える環境・子どもたち同士が育ち合う環境づくりを心がけています。1. 2歳児のロッカーは同じ部屋に設け、遊びのスペースも一緒。3. 4. 5歳児のロッカーは2つの部屋に設け、ひと部屋はフリースペースとして利用しています。それぞれの部屋の使い方を工夫し、様々な遊びを展開し、子ども達が自分がやりたい事を見つけ意欲的に取り組めるよう、どの部屋も行き来は自由にしています。こうした異年齢保育の生活の中で子ども達が自分の居場所を見つけ、安心して過ごせるように、担任だけでなく、全職員が全園児と関わりながら保育を進めています。

<食育> 食べることは生きることとして、特に大切にしています。幼児クラスを中心に畑で野菜を作りクッキング。収穫したものを食べるだけでなく、土づくりや雑草取り、毎日の水やりを通して食への興味関心を広げています。昼ご飯の時間は、ホールが食堂となり、全クラスで（時間差になるが）、職員も一緒に和気あいあいと食べています。食事は“会話を食べる”と言われるようにみんながいるから「おいしいね」と食も進み、当園では残食がほとんどありません。保育参加の際には、子どもたちと同じ食事を保護者の方にも食べていただき、保育園の食事を知ってもらっています。（有料）3月の献立には年長児のリクエストをメニューに取り入れています。

<自然体験> 自然の中で五感をたっぷり使い、感性豊かに育ててほしいと願い、園庭には固定遊具はほとんどなく、自分で工夫できるような、タイヤ、板、ビールケース、お風呂マットなどが用意されています。また、保護者の方と一緒に作った土山や、砂、水を使いたっぷり遊べる環境も作っています。日常の散歩は、自然が溢れる場所を選んだり、4. 5歳児クラスは春と秋の年2回、飯能の森に園外保育にでかけ、身近にはない自然体験をしています。乳児クラスは3月に親子バス遠足実施。自然の中で遊ぶ体験を子どもだけでなく、保護者の方にも一緒にしてもらおう事で、自然の中で遊ぶことの楽しさ、大切さを伝えています。

<造形遊び> オイルパステル・絵の具・墨・泥粘土・段ボール・ひも・などあらゆる画材や道具を使っての絵画、造形アート体験を取り入れています。

<人との出会いを大切に> 地域の方・絵本ボランティア・太鼓の指導・アート体験や、同じ法人内の年長児との交流、デイサービスセンターとの交流などにおいて、様々な人と出会える場を作っています。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

0 回（平成 年度）